

**一般社団法人日本歯科専門医機構**  
**令和4年度第3回理事会 議事録**

1. 開催日時 令和4年6月16日（木） 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター6階 6E

3. 出席者（敬称略）

1)理事数（定足数）ならびに出席理事数とその氏名（敬称略、順不同）

理事現在数 13名（定足数7名）

出席理事数 11名

出席者 会場参加 今井 裕、伊藤孝訓、木本茂成、砂田勝久、丸川珠代

WEB参加 鳥山佳則、松村英雄、村上伸也、古郷幹彦、宮脇正和、豊田郁子

欠席者 柳川忠廣、浅海淳一

陪席者 会場参加 丸山高人

2)監事現在数ならびに出席監事数

監事現在数 2名

出席監事数 2名

出席者 会場参加 横山敏秀

WEB参加 永井裕之

議長は、定款31条第1項により理事長と規定されているが、本会議は審議事項がないことから木本財務理事が務める旨報告され、定足数の充足を確認し本理事会の成立を宣した。開会に先立ち、本日の理事会には、丸山高人顧問弁護士がオブザーバーで出席する旨が報告された。

4. 開会の辞

鳥山副理事長が開会を宣し開会した。

5. 挨拶

今井裕理事長より、理事会を始めるにあたり挨拶があった。

また、丸川理事より理事へ復帰されたご挨拶があり、日本歯科専門医機構として国民の皆様に歯科の専門医についての理解並びに理解いただくための取組を進めていきたい旨が述べられた。

## 6. 議事録について

木本業務執行理事より、令和4年度第2回理事会議事録（案）について説明があり基本的に了解が得られた。なお、意見、修正等がある場合には1週間以内に事務局に連絡するよう依頼された。

## 7. 報告・連絡事項

### (1) 庶務報告

木本財務理事より、令和4年5月26日開催の第2回理事会以降の会議等について報告があった。

### (2) 会計報告

木本財務理事より、令和4年5月度の月次決算について報告があった。

### (3) 共通研修申請

丸山共通研修評価認定小委員会委員長より、申請状況等について報告があった。

また、今井理事長より、歯科麻酔学会からの申請について機構事務局の手違いにより手続きが遅滞している状況について説明し、お詫び申し上げるとともに今後の対応について報告がされた。

### (4) 歯科専門領域の協議に関する進捗状況について

木本財務理事より、第15回補綴歯科専門医（仮称）意見交換会及び第18回矯正歯科専門医（仮称）意見交換会の検討状況について報告があった。

### (5) 認定証について

木本財務理事より、認定証の記載方法について各学会と専門医機構の併記とするか若しくは専門医機構の単独とするかについて、広告可能な各5学会の現在の状況について報告があった。

### (6) その他

今井理事長から、今後、データベースの取扱いについてクラウドの中で安全性を担保しながら運用していくことを検討している旨の報告があった。

また、ホームページに掲載する認定医の名簿が揃ったことにより、掲載直前には先生方に確認依頼する予定であることが報告された。

## 8. 協議事項

### (1) 広報活動について

今井理事長より、一般の国民の方を対象に歯科に対する十分な知識、理解を深めていただくための漫画等の作成及び作成に係る経費について説明を行い意見を求めた。

各理事からは次の意見が出された。

- ・「デンタルクエスト」の中で専門医を取り上げていただき、そのタイミングで新しい冊子を作成してはどうか。

- ・専門医の数が増えていくに従いバージョンアップしていくのか。
- ・費用対効果も含めて引き続き、協議する必要があるのではないか。
- ・歯科医学会や歯科医学会連合に監修のような形で関係性があつたほうが良いのではないか。
- ・お金を掛けずに話題性を仕掛けた上で、この冊子が活用されることを期待したい。

これに対し今井理事長からは、で歯科医学会や歯科医学会連合とも相談していること、また、この企画が承認されれば正式に理事会に諮り、場合によっては臨時の委員会或いはワーキンググループで検討していきたい旨の発言があつた。

おつて、当該企画は各理事から了解をいただいたということで、次回の理事会では補正予算を含め引き続き、協議することとなった。

## (2) その他

砂田理事より、「国民皆歯科健診」について今後、専門医機構としての対応も検討していく必要があるのではないかと提案された。

これに対し、今井理事長からは日本歯科医師会や学会と科学的な根拠を示していく、その一翼を担っていく必要性は十分感じている旨の発言がされた。また、丸川理事からは、健診に係る費用を誰がどのように負担していくのかということでのどの程度の制度になっていくのか、しばらく様子を見ながら見定めていけばよいのではないかと発言がされた。

## 9. 閉会の辞

鳥山副理事長から第3回理事会を終了する旨が宣せられた。

この議事録が正確であることを証するため、定款第33条2項に基づき代表理事及び監事は記名押印する。

令和4年 月 日

議長・議事録作成者

理事長 今井 裕 印

監事 横山 敏秀 印

監事 永井 裕之 印